



平成 29 年 10 月 31 日

各 位

上場会社名 株式会社 村田製作所
代表者 代表取締役会長兼社長 村田 恒夫
(コード番号 6981)
問合せ先責任者 取締役 常務執行役員 竹村 善人
(TEL 075-955-6525)

通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 4 月 28 日に公表した平成 30 年 3 月期の連結業績予想数値を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	税 引 前 当 期 純 利 益	当 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 1,225,000	百万円 226,000	百万円 230,000	百万円 174,000	円 銭 817.91
今 回 修 正 予 想 (B)	1,362,000	170,000	180,000	144,000	676.06
増 減 額 (B-A)	137,000	△56,000	△50,000	△30,000	-
増 減 率 (%)	11.2	△24.8	△21.7	△17.2	-
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	1,135,524	201,215	200,418	156,060	733.87

2. 修正の理由

当期の売上高は、中国スマートフォンの回復は緩慢であるものの、スマートフォンの高機能化や自動車の電装化の進展により電子部品需要が好調に推移していることや、本年 9 月に取得が完了したリチウムイオン二次電池が加わったことから、当初の想定を上回る見込みです。

一方で損益につきましては、技術難易度の高い新製品の不良率改善の遅れに伴う製造費用の大幅増加や、新製品の生産能力増強のための減価償却費や投資関連費用の増加、収益性の高い製品の需要回復が想定よりも遅れたことによる品種構成の悪化などにより、前回公表予想を下回る見込みであることから、当社は、平成 29 年 4 月に公表した平成 30 年 3 月期通期の業績見通しを上記の通り修正いたしました。

なお、為替レート的前提は、1US ドル 108 円から 110 円、1 ユーロ 115 円から 130 円に変更しました。

当該予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおり、実際の業績は、業況の変化などにより当該予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

以 上